

NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2012年10月20日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2011000022"/> 整理番号 <input type="text" value="11595"/> 担当者 <input type="text" value="井上 典之"/>
表 題	<input type="text" value="コウジキンを利用したN-アセチルスクロサミンの製造と用途開発"/>
技術分野	<input type="text" value="食品・バイオ"/> <input type="text" value="化学・薬品"/>
適用製品	<input type="text" value="N-アセチルスクロサミン、酵素含有固定化コウジキン菌糸、菌糸充填リアクター"/>
目 的	<input type="text" value="母乳には、N-アセチルグルコサミン(GlcNAc)を構成糖として含むオリゴ糖類があり、これらは様々な有用生理機能を示す。このことから、GlcNAcを含むオリゴ糖に着目し、新規機能性オリゴ糖の製造と開発を行なうことを目的とした。具体的には、糖転移型酵素を含有するコウジキン菌糸を用い、スクロースとGlcNAcを原料として非天然糖であるN-アセチルスクロサミンを大量に製造しその生理機能を調査する。"/>
技術概要	<input type="text" value="糖転移型β-フルクトフラノシダーゼを含有するコウジキンの菌糸を、セライト(珪藻土)およびパーライト(発泡性真珠岩)に固定し、それらを用いてスクロースとGlcNAcを原料として非天然糖であるN-アセチルスクロサミンを大量に製造することを可能にした。"/> <input type="text" value="また、菌糸固定化パーライトに関しては、カラム充填リアクターを作成し、これを用いることで長期に渡る連続生産を可能にした。また、反応液中に含まれるN-アセチルスクロサミン以外の夾雑糖を酵母によって資化させることにより、本オリゴ糖を簡便な操作で精製できるようにした。"/>

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp